

施策評価シート（令和５年度実績）

施策名 28 観光振興により知名度を高め来訪者を増やす

			施策コード	040028
1. 施策の体系と担当課				
第5次総合計画	将来像	4 ひとと地域の資源を生かし にぎわいを生み出すまち		
主管課	総合政策部 魅力づくり推進課			
関係課				

2. 施策の目標	
10年後の目標	
自然や歴史的魅力にあふれた市内の観光情報が全国に発信され、まちの知名度が高まり多くの観光客が訪れている。	
10年後の目標に向かっての主な取組み	
市の取組み	
○地域資源を活用し、観光施設の整備やイベント・特産品・お土産の開拓・創作に取り組む。 ○飲食・サービス業の新規参入や既存店舗のPRを支援する。 ○無料Wi-Fiスポットの整備やICTツールを活用した海外向け観光情報の発信などにより、外国人観光客の誘致をめざす。 ○観光施設間の連携や観光振興リーダー育成、市と地域との共同の取組み、観光施設や事業者の自発的な取組み促進のための調整及び支援をする。 ○観光客の分析を行い、効果的な観光振興・PRを実施する。 ○泉州地域近畿自然歩道※の活用・PRにより、山手地域の活性化に取り組む。 ○貝塚市観光協会の組織力強化や、貝塚市観光案内所の機能強化及び貝塚観光ボランティアガイド協会との連携強化に取り組む。 ○近隣市町と連携し、効果的に観光PRを推進する。 ※泉州地域近畿自然歩道：和泉市の槇尾山から和泉葛城山を経て岬町の飯盛山までの尾根沿いを繋ぐ自然歩道。	
市民・団体・事業所等の取組み	
○市民・団体等が中心となった観光イベントの実施に取り組む。 ○貝塚の良さを周知するため、SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）による情報発信など、ICTを活用した貝塚市のPRに取り組む。 ○地域の歴史の伝承者などが積極的に観光PRに取り組む。 ○貝塚観光ボランティアガイド協会などの団体は地域の歴史的遺産を生かした取組みを行う。 ○観光事業者は地域資源の掘り起こしや、特産品を利用したグルメの開発に取り組む。	

3. 施策を取り巻く状況	
社会環境や法令等の変化	
本市は、海や山などの自然環境に恵まれているだけでなく、水間寺、孝恩寺といった歴史的な施設や古くからのまち並みが残る願泉寺を中心とした寺内町を有し、太鼓台やだんじり祭りも行われるなど歴史や文化資源にも恵まれているが、新型コロナウイルス感染症の影響により、来訪者が大幅に減少している。	
新たな市民ニーズ	
自然や歴史的魅力にあふれた市内の観光情報が全国に発信されることで、まちの知名度や観光地としての魅力が向上し、多くの観光客の訪問が望まれている。 外国人観光客を受け入れるため、日本文化の周知や体制の整備が望まれている。	

4. 施策にかかるコスト								
			単位	R4予算	R4決算	R5予算	R5決算	R6予算
コストの内訳	投入人員	正職員数	人		2,51		5,84	
		会計年度任用職員数			0,0		0,05	
	人件費	直接人件費	千円		15,754		40,977	
		間接人件費			1,783		4,026	
	直接事業費	27,046		38,784	48,025	41,303	28,857	
	間接事業費			0		906		
	フルコスト			56,321		87,212		
財源内訳	使用料及び手数料	千円						
	国庫支出金			4,631	12,025	17,131	9,250	9,250
	府支出金		1,530		0	408	0	
	市債							
	その他		480	756	600	2,077	0	
	一般財源1（＝フルコスト－特定財源）			43,540		75,477		
	一般財源2（＝直接事業費－特定財源）		20,405	26,003	30,294	29,568	19,607	
備考								

5. 施策の成果指標							
成果指標1		市内の主な観光施設への来訪者数					
単位	目標年度	目標値	指標数値の目指す方向	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
万人	毎年度	170	増加	131	133	165	170
成果指標2		観光協会の会員数					
単位	目標年度	目標値	指標数値の目指す方向	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
人	毎年度	130	増加	102	116	120	130
成果指標3		観光専用ホームページへのアクセス数					
単位	目標年度	目標値	指標数値の目指す方向	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
件	毎年度	100,000	増加	100,626	136,845	130,000	140,000

6. 施策を構成する事務事業ごとの評価結果（令和5年度実績）										
事務事業名	最重要指標			事業費				方向性		所見
				人件費						
				令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込）			
観光活性化事業 (魅力)	市内の主な観光施設への来訪者数（観光統計調査）			27,085	38,784	41,303	28,857	成果	A：向上を図る	二色の浜海水浴場のブルーフラッグ取得など、本市における観光資源の磨き上げに注力し、市民の皆様へ貝塚の良さを分かっていただけのような取組みを行った。
	R5実績	144	万人							
	最終目標値に対する達成率		84.7%	12,004	17,537	45,003	0	資源配分	B：現状維持	

7. 施策の事後評価	
施策指標の分析（達成状況）	市内の主な観光施設への来訪者数は単年度目標に対して達成はしていないが、確実に増加している。その他の指標も含め、増加に向けた取組みをすすめる。
構成事務事業に課題はないか	特になし。
実施主体（国・府や地域・事業所などとの役割分担）に課題はないか	特になし。

8. 今後の方向性	
担当部長の所見	本市への観光を促すためにも、貝塚市の知名度向上を図る必要がある。市民の皆様をはじめ国内や、インバウンドへ本市の情報や魅力を発信し、シティプロモーションの強化に向け取組みをすすめる。
担当副市長の意見	令和5年度に策定した観光振興ビジョンに基づき、市民自身がわがまちへの愛着や誇りを育み、本市の魅力を市内外に伝え来訪者を増やす取組みを着実に進める。